

学校長あいさつ

このたびはホームページをご覧いただきありがとうございます。

本校は、肢体不自由児のための特別支援学校で、昭和 54 年 4 月、沖縄整肢療護園中部分園（現、沖縄中部療育医療センター）内に設置された県立那覇養護学校の分教室としてスタートしました。その後、昭和 60 年 4 月に沖縄県立泡瀬養護学校として独立開校。沖縄県中部地区の肢体不自由児の教育を担い続けて 40 年目を迎えた令和 7 年度は、小学部 34 名、中学部 27 名、高等部 24 名の合わせて 85 名（令和 7 年 4 月現在）の児童生徒が適切な支援のもとに学習に励んでいます。

私達は児童生徒個々の療養状況や発達段階を考慮しながら、最適な学習環境を用意し、児童生徒が意欲(知的好奇心)を持って学習活動に取り組む中で「学ぶ楽しさ」を知り、持続的に「暮らしていく目標」を地域と共に見つけていくことを大切にしています。

校訓「あかるく なかよく たくましく」

あかるく(明朗) : 自身の健康を意識する子

なかよく(愛) : 望ましい態度で人と関わりをもてる子

たくましく(自立) : 意欲的、主体的に活動し自立しようとする子

上記の校訓に込められた思いを大切に育みながら、これからも、時代の変化や児童生徒個々のニーズに応じた自立と社会参加を目指し、教育課程の実施と改善に向けて教職員と保護者、関係者が協働し、沖縄県の肢体不自由教育の充実と発展に向け、開かれた学校としての役割を果たしていきます。

地域の皆様、関係者の皆様におかれましては、本校教育活動への温かいご指導・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

令和 7 年 4 月
泡瀬特別支援学校
校長 岩崎 政志

